

都留市行政改革推進委員会からの答申（令和2年度「事業評価・提案会」
に係る対象事業について）を踏まえた改善・今後の方向性

事業名	高齢者の見守り支援事業		
課名	長寿介護課	担当名	高齢者支援室
<p>改善策・ 今後の方向性</p>	<p>現状のサービスについては、利用者の実態や要望などの把握に努めるとともに、民間企業が提供している各種サービスの内容や導入時期を検討して、さらなる利便性の向上を図っていく。</p> <p>各民間企業と締結している見守り協定の拡充を図り、また多種多様な見守りネットワークの構築に向けて、地域の各種団体や関係機関、庁内の関係各課と連携していき、様々な角度から見守りすることができるよう取り組んでいく。また、お互いがそれぞれ尊重し、支え合うことができる地域共生社会の実現に向け、誰もが通える場としての「いーばしょ」をさらに推進していく。</p>		
<p>具体的内容</p>	<p>1.現状のサービスについて</p> <p>①ふれあいペンダント利用者に対して、機器の活用状況や必要としている機能などの調査を実施する。</p> <p>②音がなる小型機器やカメラを搭載した機器など、ハード面において利便性の向上が見込める民間企業サービスの導入を検討する。</p> <p>2.地域における見守りネットワークの構築について</p> <p>①見守り協定を締結している民間企業をはじめ市民に対し、見守りの要点について周知啓蒙を行い、質の向上を図る。</p> <p>②認知症の人を含む高齢者を見守り、支える認知症サポーターや事業所とのつながりを支援し、見守り体制の構築を行う。</p> <p>③犬の散歩やウォーキングを日常的に行っている市民に向けた「認知症サポーター養成講座」のチラシを作成し、動物病院や健康ジムなどの関係機関に設置することで参加者を増やす。また、地域環境課と連携し、犬を登録している市民に対してチラシを配布する。</p> <p>④庁内の関係各課と連携し、特に地域コミュニティセンターの役割による高齢者の見守りや協働のまちづくり事業の推進に向けた地域貢献活動を通して、日頃からの地域住民間の見守り意識の向上を測る。</p> <p>3.「いーばしょ」づくり事業の推進について</p> <p>①新型コロナウイルスの感染状況を鑑みながら、「いーばしょ」の周知や新規開設の支援を行う。</p> <p>②高齢者実態把握事業において、見守りが必要な人を「いーばしょ」などの通いの場につなげられる支援体制を強化する。</p>		